絵手紙づくり

だれでもできる野草の水彩画で、すてきな絵手紙をつくる活動です。

・題材を観察することを通して、自然の神秘性や美しさに気づかせたり、自然の家のフィールド内の四季折々の自然・草花の特徴を発見したりすることができます。
・絵手紙の描き方を理解し、興味・関心を持つことができます。
・絵手紙の作成を通して、自分の心を絵や文章で表すことに楽しみを感じること
ができます。

時　期	通年	**所要時間**	2時間程度	**人　数**	50名以内
対　象	小学校中学年以上	**活動場所**	第一研修室、プレイホール、アセンブリホールなど		

準備物	**自然の家で貸し出す物**	**団体・個人で準備する物**
	和画仙紙、葉書、水彩絵の具、顔彩パレット、水入れ、筆	題材（各自が観察・採取したもの）

活動の手順	**事前指導**	・用具等の準備 ・キャッチフレーズ「へたでいい。へたがいい。」であることを話す。 ・下書きはしないことを話す。 ・集中して最後まで書くことを話す。
	活動の実際	1　活動の説明を聞く。 (1) ねらいの確認 (2) 活動方法 2　活動開始 (1) 下書き用の用紙に書いてみる。(1～2枚) (2) 実際に葉書に書く。 3　鑑賞会 ・　互いの作品を見合って相互評価する。
	事後	・みんなで後片付けをする。
備　考	・どんなものを書いたらいいか迷っている参加者には、サンプルを真似することを勧めてみましょう。 ・あえて不自由な持ち方～筆のてっぺんを軽く持ち、肘をあげて肩の力を抜いて～で書くと、味のある 絵手紙ができます。	